

## 第 67 回 桂宮杯全日本水上スキー選手権大会

### COVID-19 感染防止対策ガイドライン（2021 年度版）

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に関し、本大会の運営に当たっては、厚労省をはじめ、県・市及び各大学から発信されている感染防止対策に関する施策・目安に準拠し、その対策を実施いたします。本大会運営にご協力いただく皆さまにおきましては、本感染防止対策における内容を事前にご理解いただき、選手・その他関係者への丁寧な説明と協力要請をお願いします。また、業務を行うジャッジ・役員の皆さま自身も感染しないよう、対策を徹底の上で業務いただけますようお願いいたします。

---

## 1. 全般

- 会場入場者全員が順守すべき項目をチェックリスト化し会場内に掲示する。
- 大会開催中は、COVID-19 対策委員を選任し、チェック項目が順守されているか、会場内を定期的に巡回・確認する。
- 会場入場者全員の情報を、大会後 1 か月間をめどに保管し、万が一感染者が発生した場合に備える。
- 会場すべてに、ソーシャルディスタンス(原則 2m・最低 1m 以上)を保った導線の確保、指導を行う。
- 「マスク」の着用を徹底する。今大会で使用する「マスク」は、ウイルス拡散防止効果の高い、不織布でできたものをできる限り推奨する。
- 会場内（曳航艇・補助艇・出走ピット・本部・各タワー・入場ゲート・トイレなど）に消毒液を配置する。
- 上記に挙げた内容より逸脱する場合、もしくは感染が疑わしい選手/関係者が発生した場合、主催者により該当者の入場拒否または大会の中止判断を速やかに行うこととする。
- 大会後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局への連絡を要請する。

大会事務局 : jwsa-info@jwsa.jp

---

## 2. 選手、大会運営役員、競技役員、大会来賓への対応・お願い事項

- 選手、大会運営役員、競技役員、大会来賓が下記の条件に当たる場合は、参加見合わせの要請をする。
  - 体調が思わしくない場合
  - 同居家族、近親者、または本人が濃厚接触者と認定されている場合
  - 同居家族や近親者に感染が疑われる方がいる場合
  - 所属する学校や会社等で COVID 関連の理由で休校、休業、自宅待機の措置が出ている場合
  - 観察期間を必要とされている国・地域から帰国後、14 日が経過していない場合
- 参加者人数の制限を行う
  - 競技当日の該当選手、大会運営役員、競技役員、大会来賓は参加可能とする。
  - 一般、親族、大会関係者以外の入場を原則禁止とする。
  - 大会役員・競技役員の人数は通常の 70%に制限する。
- 選手、大会運営役員、競技役員、大会来賓へのお願い事項
  - 選手、大会運営役員、競技役員は 2 回のワクチン接種証明または PCR 検査陰性証明（3 日・72 時間以内）、過去 2 週間の健康チェックシート、誓約書兼問診票の提出
  - 大会来賓は 2 回のワクチン接種証明または PCR 検査陰性証明（3 日・72 時間以内）、誓約書兼問診票の提出
  - マスクの着用（選手：出走直前までは常時着用する）、不織布マスクを推奨
  - ソーシャルディスタンスの確保（特に出走ピットや待機テント内）
  - その他気をつけること（ツバやタンを吐かない、タオルを共用しない、飲料を飲み回ししない、大声での声援は行わない、必要以上に裸足にならない）
  - 本部へ行く場合にもソーシャルディスタンスを心掛ける

---

### 3. 会場受付

#### ■ 受付の対象者

- 入場者全員（選手、大会運営役員、競技役員、大会関係者）を受付対象とする。
- 来賓など一時入場者は当日検温、ワクチン接種証明またはPCR検査証明（3日・72時間以内）と問診票兼誓約書の提出を持って「一時入場パス」を発行。

#### ■ 事前・大会当日の健康チェック

- 選手、大会運営役員、競技役員、その他大会関係者は、「試合前2週間」の体調変化、朝夕の体温を健康チェックシートに記入、提出する。
- 「当日」の体温測定：受付にて、非接触型体温計で測定し健康チェックシートに記載する。  
※非接触型体温計での測定で37.0度を超えた場合は、接触型体温計で再測定する。
- COVID対策用問診票兼誓約書も記入、提出する。
- 試合開催中は毎日指定のアプリに体温と体調を記入し提出する。大会初日受付にてアプリへのメンバー登録を行う。
- 大会終了後1か月間、日水連事務局にて保管し、その後適切に廃棄する。

#### ■ 出場可否の判断

- 「前日」または「当日」に測定した体温のいずれかが、37.0度以上の場合に出場可否の判断を実施する。
  - ✓ **37.0度未満**：出場可能とする。
  - ✓ **37.0度以上**：メディカルに健康相談する。
  - ✓ **37.5度以上**：参加辞退。（メディカルに健康相談を実施し、参加辞退を要請する。）

#### ■ 受付の導線

- ソーシャルディスタンスを確保して1人ずつ受付できるよう、待機エリアを確保する。
- 受付時に検温を行いリストバンドを装着する。

#### ■ 消毒用エタノールの配置

- 受付に消毒用エタノールを配置し、手指の消毒実施を徹底する。

---

## 4. 大会事前説明について

- JWWF ウェブサイト、SNS、都道府県連代表者への通達メールによる大会概要詳細の周知
- JWWF ウェブサイト、SNS、都道府県連代表者への通達メールによる COVID 対策詳細の周知
  - 事前に選手、大会関係者にウェブサイト、SNS、メールを通して、2 週間前からの健康チェックシート記入のお願いと、大会開催中の COVID 対策に関する周知を行う。
- 大会当日の競技説明の実施について
  - 大会運営役員、競技役員と選手が参加する Zoom オンラインミーティングのみ実施する。
  - 競技判定に関する異議については、口頭による申し立ては一切受け付けない。  
「抗議」「再走請求」に関しては JWWF ルールに則り、ソーシャルディスタンスを保った上で行う。

---

## 5. 開会式、閉会式

- 開会式、閉会式は実施しない予定
  - アナウンスのみで告知し、桂宮杯返還と授与のみライブ配信予定。
- リザルトの掲示
  - リザルトは JWWF ウェブサイト、SNS に掲載するのみで、会場での掲示は行わない。

---

## 6. 出走時／競技終了後の対応

- ピットまでの移動
  - 選手帯同は 1 名までとする。
- 消毒用エタノールの配置
  - 出走ピットに消毒用エタノールを配置し、選手の手指の消毒実施を徹底する。
- 出走待機時
  - 選手は、ソーシャルディスタンスを確保してピット内で待機する。
- マスクの着用・回収
  - 入水直前までマスクを着用し、スタート前に所定のゴミ箱に回収する。
  - 帯同者へ預ける形でも可。

## ■ 出走時プロトコル

- 通常通り、声出しによる合図で出走するタイミングを図る。

## ■ 競技終了後のプロトコル

- 競技終了後、ボートから選手自身がリリースする場合：ピットで新しいマスクを渡す。
- コース上で転倒して終了する場合：救助艇（補助艇）が選手を拾い、ピットまで運ぶ。救助艇には選手を貯めないで随時ピットに帰還させる。

---

## 7. スキーボート・スキー・ロープ・運営用器具等用具の事前・事後消毒

- 選手個人の用具は選手の責任で消毒をすること。
- 運営固定器具に関しては朝・ター回ずつ競技役員が行う。
  - 【器具】役員使用の机・椅子・文具また手すり等。
- 精密機械は可能な限り使用者が接触個所を消毒する。
  - 【精密機械】PC・プリンター・テレビモニター・ビデオカメラ・トランシーバー等

---

## 8. 飲食時の対応

- ソーシャルディスタンスを取ったうえで屋外にて飲食（やむを得ず屋内飲食の場合は密を作らない）
  - 対面による飲食を禁止、黙食、個食に務める。
  - 会食を控え、多人数で集まって食事をしない。

---

## 9. 競技中における競技役員の対応事項

- 曳航艇、補助艇、タワー、スターティングドック等、配置転換毎にスプレー消毒や抗菌シートを使って拭き取りを行う
  - その際は、使い捨て手袋を着用して業務する。
- トリックのリリースの乗降毎にスプレー消毒・抗菌シート拭き取りを行う
  - 消毒用エタノールを配置し、随時消毒できるようにする。
- トランシーバーは期間中同一機器を使用し、一日使用毎にスプレー消毒・抗菌シート拭き取りを行う
- スコアリング・ブッチャー機器は使用毎に抗菌シート拭き取りを行う。
- ボールペン類は基本個人毎で使用。やむを得ない場合は都度抗菌シートで拭き取りを行う。

---

## 10. 会場内テント、観覧席について

- 毎日使用毎にスプレー消毒・抗菌シート拭き取りを行う
  - 消毒用エタノールを配置し、随時消毒できるようにする。
- 観覧席は決められた印上のみ使用可能で、距離を保って着席する。

---

## 11. トイレ・手洗い場所

- 対象のトイレ
  - 施設内の常設トイレ 1 か所に対して、マスク着用、手指の消毒などの感染防止対策を実施する。

---

## 12. ゴミ廃棄について

- 拡散の防止
  - 基本、会場内にゴミを廃棄せず全て持ち帰る（特に飲食に伴う廃棄物）。
  - 大会本部などでの事務関連廃棄物は、現地ごみ出しルールに従い、適切に梱包の上、破棄する

---

## 13. メディカルに関して

- メディカル体制
  - 看護師を配置する。
  - 軽傷の場合は看護師による手当を行う。
- 発熱者および陽性者発生時の対応
  - 発熱時対応フローチャートに従い対応後、新型コロナ陽性判定の場合は速やかに保健所と連携
  - 関係者の業務フローに従い、担当への迅速な情報共有をすることでクラスターを未然に防ぐ。

---

## 14. 大会会場外における対策

- 現地までの移動（車移動の場合）
  - 乗車定員の 60%を上限とする
  - 高速走行以外は窓を開けることで常時換気
  - 車内ではマスク着用、会話はなるべく避ける
  - 車内での飲食は避ける

■ 現地までの移動（公共移動手段使用の場合）

- なるべく混雑していない時間帯の移動を行う
- 車内ではマスク着用、会話はなるべく避ける
- 車内での飲食は避ける

■ 宿泊所と大会会場間の移動

- 上記(現地までの移動、車移動の場合)と基本同じ。
- 経路途中での立ち寄りや極力避け、やむを得ない場合は滞在時間を短時間で済ます
- できるだけ最短ルートでの行き来を目指す

■ 宿泊に関して

- 滞在するホテルの指示に従う。

■ 外出について

- なるべく外出せず、やむを得ない場合も 15 分以内で戻る
- 人が多く集まる場所などへの移動を控えること。
- コンビニは少人数のみで買い出しを行う。会話は控えること。
- 1 時間程度で食事は終了し長居はしない。飲酒は禁止。(食事中の会話は控え、黙食に努める。)